

平成 29 年度 教育研究発表会 アンケート結果より

平成 29 年度の教育研究発表会の内容について参会者に御意見を伺った中で、特に「今後、どのような場面で本校の研究内容を活かすことができるとお考えかですか」という問いへの回答をまとめました。各学校で本校の研究成果を少しでもご活用いただければ幸いに存じます。

〔県内外公立学校関係者〕

- ・「生徒の他教科での既習をどのように生かすか」という視点が身に付くことで（活かしたい。）
- ・伝統文化教育… 2 年 4 組の社会の授業は興味のわく内容で生徒は自分で調べたくなったと思います。素材を選ぶことの大切さを学びました。
- ・授業方法…映像があつてとてもわかりやすかったです。（2 年 4 組も 1 年 1 組も）50 分間が充実していて、はやく進んだ気がします。
- ・伝統文化の意識、また他教科とのつながりは、普段あまり考えることができていません。今日の先生方の授業や資料を自分の授業作りの参考にさせていただきます。（県内公立学校）
- ・自分自身の教科単元と他教科とのつながりを意識して授業をしていただくことに役立てていきたいと考えています。（県外公立学校）
- ・自分の（自分たちの）実践を振り返る機会（県外公立学校）
- ・普段の授業や研究論文など（県外公立学校）
- ・地域調査（社会）、日本の文化に親しむ、日本の良さを知る（道徳）等。・教材開発（県外公立学校）
- ・伝統文化教育に力を入れているので、特に教科等横断的なカリキュラムが参考になりました。（県外公立学校）
- ・やる気のあるすてきな生徒たちで好感を持ちました。公立学校の子どもたちもこうありたいと思いました。これも伝統なのでしょうね。（県内公立学校）
- ・（附属学校に通学している小中学生が）様々な学習、経験を通して自国について豊かな知識・経験を身に付け、他国や新しいもの・出会いに対して柔軟に受け入れ関わっていける人になってほしい。伝統文化教育は、今後彼らが色々なものと出会う場面で生きてくるのだと思いました。（県内公立）

〔教育委員会関係〕

- ・立場的に多くの学校の研究助言者となります。先進的な範例として紹介していきたいと思います。（県外教育委員会）

〔附属学校関係〕

- ・数学科の授業を参観したが、いずれも伝統文化を題材にしたうえでの授業設計であり、これは新指導要領における「数学的活動」で述べられている身の回りの事象や社会の事象としてあつかうことができるものであり、生徒が課題に対して、主体的に取り組むことができていた。さらに、自分たちが生活している地域のよさを改めて認識する機会にもなるので、私自身、今後の授業の中で広島
- の伝統についてもっと勉強し、授業にも活用したい。伝統文化を授業で取り上げることで「主体的・対話的で深い学び」にも生かすことができる。「伝統文化を題材→主体的な学び」「それを基に

数学を用いて解決→深い学び」

(県外附属学校)

- ・新しい学校教育の在り方として、一般校の方法の一つとして活かせると思います(県外附属)
- ・日常生活と学校生活(授業)をどうつなげていくのか、考えるきっかけとなりました。学校で学んだことを、どう生かし、子どもたちがよりよい生活について考えることができるよう、今後の自分の指導の仕方を考えていきたいです。(県外附属)
- ・伝統文化教育の素晴らしさを感じ取ることのできる実践でした。今、このような時代であるからこそ価値のある教育であると共感いたします。自国、ふるさとを誇れる人間になった時、きっと堂々と世界に翔くことのできる人を創るのでは、と思いました。内なるエネルギーと外なるエネルギーは対になるものであるようにも思いました。そのような視点にアプローチする教育は未完成だとしても価値を創造すると考えます。(県外附属)
- ・グローバル社会・これからの未来を創る生徒たちが、自国の文化を理解できるようにすることはとても大切です。学習の中で地域の伝統であるもの(美術モチーフ・数学の金箔など)を取り入れることで、学びと生活が結びつき、より深くより身近に学びを楽しめると思いました。(県外附属)
- ・自分自身の授業の向上(県外附属)

[大学関係]

- ・外国の文化との比較(県外大学)

[金大教職大学院]

- ・教師の支援の在り方が変わってくるのではないのでしょうか。